



# 神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第12号

## KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2002年4月1日号, No.12

### 第12号の目次

- 1、今年度の活動について ~ 2002年度代表挨拶 ~
- 2、JRB理事会報告 ~ 井上代表 ~
- 3、イベントレポート
  - 大和災害体験フェア所感 (2002/1/19-20)
  - 神奈川RRB第4回総会報告 (2002/2/3)
  - 走ろう会ツーリング (2001/12/23)
- 4、会員より
  - 新年会報告(2002/1/13)
  - 交通事故レポート ~ 沖野雅之 ~
- 5、編集後記

### 2002年度活動方針について

2002年度代表:井上哲也



神奈川RRBが発足し、3年が経過しました。震災時活動に限らずボランティアという活動に対し素人だった我々は、常に暗中模索の日々でした。しかし3年以上継続しているということは、我々をとても勇気付ける様に思えます。ひとつの実績とも考えられます。

さて、前年の2001年を振り返ると、神奈川RRBは創生期から安定期に入ったと総括できるかと思えます。設立当初から突っ走ってきた我々は、神奈川RRBという組織の安定、メンバー間の信頼関係の構築をひとまず実現することができた様に思えます。このことは、「バイクで社会に役に立ちたい」という思いだけで、面識も無い、意識も志も異なる人物の集まりであったことを考えると、メンバーの多大な努力が実った貴重な環境です。

また昨年度は神奈川県内の防災拠点調査する等の震災時活動の検討を開始し、所定の成果を得られました。その他の活動を含め少しずつではありますが、実働できる能力が向上していると思います。

一方、反省点としては、新たな次の段階に足を踏み出すことが出来ませんでした。何故でしょうか。

個人的に振り返っても色々な理由があったと思いますが、神奈川RRBとして「次に何をすればよいかわからない」からではなかったかと思えます。もちろん、我々が集まっている理由は規約に示す通り、オートバイを活用した震災時ボランティアという目的があるためですが、その目的達成の具体化が不足していました。

これまでも活動の具体化を考えていった場合、震災時という想像さえも容易でない特殊な活動範囲、メンバーそれぞれの活動できる範囲や考え方の違い、等々の要因により、話をまとめることが困難でした。

しかし、良い意味で「わかりあえる関係」になった現在、次の段階を考え、実際に活動を始めることは可能だと思います。

2002年の活動方針にもなりますが、今年は、自分たちの動ける範囲とはどの程度なのか、その範囲では何ができて何ができないのか、を把握することから、具体的な活動の一步としたいと思います。

この一步を踏み出すことで、メンバー各自が、自分の生活に支障が無い範囲で自分に何が出来るのかを理解し、そして出来ることを日々意識し、またやれる範囲で実践していくことで、神奈川RRBを通じて社会に貢献しているという実感を持つことにつながれば、とても素晴らしいと思います。

2001年11月  
防災拠点確認  
訓練時  
by 池田



### JRB理事会報告

BY 井上哲也

2/17 浜松で開催されたJRB理事会に出席しました。主な議題は、JRBのNPO法人取得断念の件、およびJRBの解散の件でした。

NPO法人格を取ることで社会的認知の取得や、企業等からの助成金が期待できると、一昨年からNPO法人格取得申請作業を進めていましたが、現在の地域RRB代表による連絡協議会である組織形態はNPOの対象とならず、JRBを頂点とするピラミッド型の組織に変更する必要があるなど多くの課題が申請作業の過程で明確になり、これまで時間をかけて議論を重ねてきました。そして今回、やはり組織を大幅に変更する必要がある法人化は断念することとし、可決されました。

次にJRBの解散の件ですが、前回の理事会でJRB代表・内田氏より、「現在のJRBは一旦解散し、NPO法人格を取ることを前提とした新生JRBを作りたい」との提案がなされ、今回の理事会でその議決を取る予定としていました。が、やはり現状の組織を大きく変える必要があるという点などから各理事の合意は得られず、修正議案「現在ある各地域RRBはそのまま存続し、JRBは解散する」にて可決されました。

この結果、JRBという組織は無くなりましたが、元々JRBとは地域RRBの代表によって構成される情報の横通しの場であり、RRB全部が消滅するわけではありません。また、本理事会後、各RRBの代表を集めて懇談会を開催し、今後も引き続き各RRBが連携できる様に、組織的には緩やかな協議会を作ることを合意しました。

以上が理事会での内容になりますが、JRBの解散により今後我々神奈川RＢが何らかの影響を受けることは基本的にありません。が、これまでJRBを中心に連携できていた他のRＢとのつながりを今後も絶やさない様に、積極的に他のRＢとコミュニケーションを取っていく必要があると思います。

## イベントレポート

### 1/19-20 大和災害体験フェア

「やまと災害ボランティアネットワーク」主催の「災害体験フェア 2002」が、1/19-20(午後3時から翌日の午前9時までの一泊二日)、大和市北大和小学校で開かれた。体育館での避難所体験やボランティアセンターの立ち上げ訓練、救急法の講習などのほか、インターネットを使って神奈川災害ボランティアネットワークらとの相互情報提供訓練も行われた。

神奈川RＢからは主催事務局の加藤さん(通称かえ)始め数名のメンバーが参加し宿泊訓練、物資搬送訓練等の主力として携わった。

#### 訓練に参加する山田、中島、神林



今回のフェアには同ネットワークのメンバーや地元自治会、市防災対策課など約100人(宿泊は25人程)が参加した。今年で4回目の開催になる。(初回

99年はやまとボランティアネットワーク設立準備委員会が主催)

19日(土)に行われたボランティアセンターの立ち上げ訓練は、被災者とボランティアの2グループに分かれ(あなたはかけつけたボランティアですとか、あなたは軽傷者ですなどの役割が書かれたカードが事務局から渡された)、それぞれがどう行動したらよいのかを検討し、センターが機能するまでのシミュレーションを行った。その後、市消防本部の起震車や消火器訓練などに参加した。夜は各自持参したおにぎりやカップ麺などの夕食をとった後、三角巾の使い方や心肺蘇生法やペットボトルを使った簡易水ろ過器、ブルーシートの簡易テントづくりなどの講習が行われ、終了後同小学校の体育館に25人ほどが宿泊した。体育館の床の上に段ボールを敷き、寝袋の上にはさらに毛布をかけるなどの防寒対策をとり、午後11時には消灯した。

翌20日には全員が5時に起床。阪神淡路大震災が発生した午前5時46分には全員で黙祷を捧げた。その後、神奈川レスキューバイクネットワークのメンバーがバイク5台などで海老名市内のパン会社へ取りにいった菓子パンの配給や、炊き出しのうどんと無洗米で朝食を済ませた。

午前8時30分からの閉会式には土屋市長もかけつけた。

両日の間、やまと災害ボランティアネットワークは、神奈川災害ボランティアネットワークと県災害救援ボランティア支援センターサポートチームの2つの全県組織と横浜、横須賀の地域災害ボランティアネットワークと連携して共通のホームページを立ち上げ、各地域での訓練模様をリアルタイムで流したほか、インターネット上に設けた「掲示板」で

他のボランティアらとのやりとりも行われた。また市内のFMラジオ局「FMやまと」でも会場内の模様がミニ中継された。

今回の訓練に外部からサポートした手塚さんの記事が神奈川災害ボランティアネットワークの会報に掲載されました。記事は抜粋ですが以下原文にて掲載します。

### 大和災害体験フェア通信訓練所感

by 手塚則生



今回の訓練、大変お疲れ様でした。

横浜、県サボセンでの「支援チーム立ち上げ訓練」では、ほとんど何もお手伝いが出来ずに申し訳ありませんでした。孤軍奮闘でのwebページ、掲示板製作・レポUPなどなど、大変ご苦労様でした。

さて、私は19日(土)は「支援センター本部立ち上げ訓練」の後、県サボセンから寄付していただいた「救援物資」をバイクに積み北大和小学校の訓練に合流しましたが、残念ながら翌日の急用の為に22時には帰宅することになりました。

私を除いた神奈川RＢの宿泊メンバーは、翌早朝には、神戸屋製パン海老名工場様の御厚意によりすでに恒例となった・工場 訓練会場(今回は北大和小学校)へのパン搬送を行いました。私用で現場を離れた私ですが、帰宅後も訓練の様子が気掛かりで、特に翌朝のパン搬送は、神奈川RＢにとっても貴重な御厚意の品を運ばせて頂く訓練ですので無事故で滞りなく済むかと言う事は“その場に居られないからこそ”心配でもありました。そんな訳で帰宅後も深夜まで現場の様子を知りたく大和の掲示板を見ていたら、横須賀・船越訓練からのこの様な書き込みを見つけました。

以下原文

明日朝、横須賀にもパンをお届けいただけますでしょうか？

横須賀には、大手のパン工場がなく、困っています。

20名分、お願いします。

-----

バイクならではの身軽なフットワークを身上とする神奈川RＢですからこれは出来る限り期待に応えるべきだろうと、直ぐに大和のメンバーにもメールを送ったり、既に就寝時間である為に、PCも電源を落としているかも？と、携帯電話へ留守電を入れたり、色々な方法でこの要請に応じられるか検討して貰おうとしました。

例えば神奈川RＢのHP上の掲示板にも、

横須賀いけます？ 投稿者:てづか

投稿日:1月20日(日)02時00分17秒

船越小学校から

「パン20人分を運んでください」の要請がありますね。

どうですか？大和のRＢメンバーは行けますか？

-----

と、書き込んだりしました。

そして翌朝、神奈川RＢ東部地区リーダーの坂本氏から

「現場でも横須賀への搬送をしようと相談し、横須賀に連絡をしようとしたが、なかなかつながらず、やっと通じた時には既に横須賀の訓練は終了していた。」と聞きました。

今回はあくまでも「情報シミュレーション」と言う訓練でしたから、

ボランティア・支援物資関連両方の掲示板とも“仮想情報”を中心とした書き込みが多かった事は、当初から察しては居ましたが、神奈川R.Bが「実際にこの掲示板の情報を受けて動こうとした」と言う事情もお察し頂けると思います。

私たち神奈川R.Bは今までにも多くの訓練・有珠山・三宅島避難者への支援活動などには実際にバイクや車を駆使して走り回って来ました。それがR.Bの活動なのです。今回の事では、神奈川R.Bのメンバーの中から「実際に動く前に情報の裏を取ることはやはり必要だと言う良い例だと言う事でしょう」と言う、至極当然の意見も出ています。

大和ポラネットの北大和小学校は、肅々と極めて真剣な訓練に終始したのに対して、横須賀の現場はどう言う雰囲気だったの判りませんし、掲示板への書き込みをした時の様子も当然判りません。

今回は神奈川災害ポラネットにとっても、栗原さんにとっても初の試みだったとお聞きしていますので、色々多くの課題が得られた事と思います。全ての課題をクリアする事は非常に難しい事とお察ししますが、あの「仮想と実際の情報の区別が付かない掲示板」は、次の機会からは改善される方が良いと思われます。

勿論最初のほうに「これは災害訓練です」の文字は見えますが、書き込みの表題にも「仮想情報」など一言付け加えるように協力を呼びかけるなどして頂きたいと思います。私たち以外にも、今回のweb上での情報の展開に、疑問を感じていたと思われる書き込みもありますし、質問の様な書き込みにきちんとした回答も書き込まれていません。私もパソコンやネットには疎いほうで、極めて初歩的な使い方が知りませんので具体的などうする物なのかはさっぱり判りませんが出来れば「ツリー形式」で書き込み事にレスポンスを付けられる掲示板にして見ることも一案かも知れませんが、無駄に長くなりましたが、以上、「今回、私が気付いたこと」でした。

訓練について考えさせられる所感でした(編集0)

## 2 / 3 第4回神奈川R.B総会



2月3日、海老名市民サポートセンターにて第4回神奈川R.B総会が開催されました。この日は小雨がぱらつく天候ではありましたが、多数の会員が集まり、用意されていた総会議事について全案件承認され、2002年度の神奈川R.Bがスタートしました。

また山梨でお好み焼き屋「おにがわら」で新しい生活を始めながら神奈川R.Bの活動に協力して頂いている中島さん、昨年交通事故で入院を余儀なくされた沖野さんも久々に顔を合わせ更にお二方からは寄付も頂きました。

中島さんは神奈川R.B名誉会員でもあり、八ヶ岳のふもとからあたたかく神奈川R.Bの活動を見守って頂いています。また中島さんは地元消防と積極的に交流し、防災について今後も勉強になることをいろいろ

伝えていただけそうです。今後も宜しくお願いします。

冬の休業中はお好み焼きを極める為、更なる修行と調査に勤しむそうです。

尚、総会で承認されました新体制は以下の通りです。

2002年度新役員、リーダー紹介(敬称略)

代表:井上哲也

副代表:山本泰彦、神林邦彦、太田隆行、矢代幸雄

事務局長:手塚則生

会計監査:山田泰、梶エミ子

震災時活動研究分科会リーダー:山田泰

バイク分科会リーダー:渡辺和也

救急救命分科会リーダー:河内善徳

情報通信分科会リーダー:坂本篤哉

東部地区リーダー:坂本篤哉、西部地区リーダー:永山充

南部地区リーダー:手塚則生、北部地区リーダー:渡辺和也



## 12/23 走ろう会ツーリング

池田喜由

走ろう会厄除けツーリング

:佐野厄除け大師・筑波山神社

12月走ろう会は12/23(日)実施さ



れました。

当日は快晴、朝は気温5度くらいで、少し寒かったのですが、日中は、12度位迄上がり、絶好のツーリング日和となりました。

佐野厄除け大師

佐野市は古い落ち着いた町で、厄除けで名の知られる厄除大師は町の南西に位置し、佐野市観光会館の前にあります。

佐野市のキーワードは、「くう」・「みる」・「おがむ」。

「くう」: 昼は、手打ちラーメン 万里で大盛りねぎラーメン

「みる」: 古い町並みを眺めながら佐野厄除け大師へ行く

「おがむ」: 厄除け大師で、わが身、家族、KRB皆さんの安全を祈願。

午後は、筑波山温泉街に隣接する筑波山神社に参拝した。

夫婦円満の神社らしい。

(もはや、私には遅過ぎ効用は望めそうにない)

四六のがまのマスクットや饅頭が目につく。

ちなみに四六のがまとは、前足指が4本、後足指が6本からそう呼ばれるらしい。



道の駅下妻にて



[その他のイベント]

3 / 3 : 神奈川RB運営ミーティング開催

1 / 16 , 2 / 19 , 3 / 19 : ボランティアのための救護報研修会

## ・・ 会員から ・・

### 新年会レポート

ども、Gie@Wizard A.S.こと坂本です。

新年会@神林さん宅のレポートでございます(^)参加者は、神林さん、山田さん、太田(隆)さん、矢代さん、渡辺さん、手塚さん、奥村さん、



太田(真)さん、宇井さん(旧姓)、かとおさん、オイラってな感じだったかな？

食材や酒なんかは、殆どを神林さんの奥さんが用意、更にお皿に盛ってくれたり、一番大変だったんじゃないかなと思います(^)

この場を借りて、お礼を申し上げます m(\_)\_m

また、太田さんが刺身用に朝早くから市場(どこだっけ？(^)) 編集部注「三崎です」まで行って、魚を買ってきてくれてました(^)太田さん、ありがとうね~(^)/さて、酒盛りでの話題では、矢代さんが持ってきてくれた白バイ大会のビデオが主になっており、「この人はここで失敗したんだよね~」とか、「この人が田島さんの教え子だよ。」とかと、解説をしてくれました。

しかし、ホント、上手い人の走行風景って、見るだけで為になりますね~。特に、矢代さんとオレとかは、見てるうちに、「あぁ~、走りえ~！」(Y-Y) なんて、血が騒いだりしてました(^)



.....とまぁ、こんな感じでやっぱりバイクの話題に明け暮れました(^)

オレがいつも思う事は、これだけ色々な人達が、こんな風に仲間になれるのって、やっぱり、バイクっていう乗り物に出会ったからなんだろう

な..... バイクに乗ってて良かったな.....って事です(^)

オレはこれからも乗り続けますぜ(^)そして、これからも仲間としてよろしく願いますぜ(^)/

P.S.十二指腸潰瘍が治ったと思って、油断して酒を飲み過ぎて、胃痛を起こして眠れなくなったのはオイラです(T-T)

神林さんの奥さん、夜遅くまで雑談に付き合ってくれてありがとうございました m(\_)\_m

今度は肝に銘じて、迷惑を掛けないようにいたします(^)

### 特別寄稿 交通事故からの生還

沖野雅之



いつものごとく目が覚めて、重い目を開けると見慣れない色が目に入って来た。寝ぼけているのだと思い、眼鏡を探そうと手を動かそうとしたが手が動かない。目を動かして周りを観察するとチューブらしきもの、チューブの先に袋が付いているのが目に入って来た。

ここで自分の状態が認識出来た。ここは病院で、自分がベットで寝ていると言うことは、事故ったのか...でも事故った記憶がない。でも状況から判断して事故ったことには間違いがないようだ。とにかく自宅、会社に連絡だけはしなければならぬと思い、動かない。首を動かして見ると頭の側に携帯が置いてあったので、動く手で携帯を取り会社に連絡を入れた。どうも事故を起こしてしまい病院にいるので当分出社は出来ない。連絡が終わると看護婦さんらしい人が怒鳴って携帯を持って行ったが、状況が飲み込めないまま記憶が無くなった。

怪我の状態は、左大腿部複雑骨折(回旋解放圧縮骨折)、左肋骨骨折、右頬骨骨折、左胸裂傷と素人ではよく解らない単語を説明してくれたがいまいち理解できなかったが、どうも重傷の部類に入る様だが、奇跡的に膝、股の関節は痛めているが、破壊していないので足は時間が立てば正常に曲がるだろうと言われた。現在、短時間であれば正座が出来るまで間接は回復したが、大腿部の痛みはまだ続いて薬を服用しながら仕事をしている日々が続いている。

事故の状況は記憶が全く無いため説明が出来ない状態ですが、警察から聞いた話では、第3車線を直進中に第2車線を走行していた車が第4車線の右折車線まで急に進路変更してきたとのこと。運転者は右折することに気を取られて、こちらの事に気が付いていなかった様で、停止線の25メートル付近で接触している。車(日産のテラノ)の修理代が75万円かかったそうなので、修理代から考えてもぶつかり方も半端じゃなかった様である。8月末の暑い時の事故であったため装備は軽装であったが、過去の経験、白バイ隊員からの助言で、装備には気を付けていたので軽傷(?)で済んだ。事故の内容からして死亡事故になってもおかしくないほど酷かった様で警察も生きていて、自力で動けることが奇跡だと言っていた。オフ車に乗っていても、公道ではフルフェイスヘルメットを着用していたし、長袖のライダーズジャケットを着ていたので助かった。細かい事を言えば、靴はハイカットの物を履いていたので、くるぶしを削らなくて済んだし、冬の厚手のジーパンを履いていたので皮膚を削らなくて済んだ。リュックを使用していたので、脊髄パッド代わりにしてくれたので背中に損傷なし。ライダーズジャケットを着ていたため、服が丈夫で一瞬車に引っかけた様な状態であったために後輪に巻き込まれずに済んだ。フルフェイスでスネル規格のヘルメットだったので、頬骨を折っただけで済んだ。血が出ているのが、擦り傷4カ所くらいで擦過傷が無かったので、入院後4日目に大腿部の手術が出来た。擦過傷が有ると手術が出来なかつたり、手術痕が残りやすいと言っていた。胸の裂傷は摩擦熱で出血が無かったのが幸いして無輸血で済んだ。そんな事もあって、入院中オートバイ事故で入院したと言ってもほとんど健康者状態で、説明をしないと、国会議員の入院状態でした。

考察:事故って痛感したのですが、身を守る物身につけている物は機

能重視で選んで良かったと実感しました。白バイ隊が言っていたが、自分の命が大切なら身に付ける物はいい物を選ぶ様にと！！金額に比例して安全率が上がるという事を実感しました。特に頭を守るヘルメットは安全率の高い物を使用するようにしてください。これだけの事故に遭ってしまうと、オートバイに乗れなくなるが(周りからの圧力、精神的にも)好きで乗っていたので乗れなくなってもオートバイに関わってほしいので、これを読んでくれた人が事故に遭わないことを強く願います。

・ ・ ! ! NEWS ! ! ・ ・

神奈川R B携帯電話用サイト開設

<http://k.excite.co.jp/hp/u/krpkrb/>

(i-mode/J-sky/EZweb の各形式対応)

会員向けの近日イベント予定などを載せていきます。

非常時には緊急のお知らせを出す事も検討中です。

皆さんの携帯電話にアドレス登録をしてください。

## 編集後記

編集担当より

春満開。皆さんこれからが最高のツーリングシーズンですね。私も先週最後のアンコウ鍋を食しに那珂湊まで行って来ました。木々や草花の色が日々変化してゆきますね。花粉症の方はもう少しの辛抱です。さて、会報編集を担当して初めての号です。皆様如何だったでしょうか？少しづつ良くしてゆこうと考えます。みなさま、暖かく見守ってやってください。

### 神奈川R B事務局

代表:井上哲也、事務局長:手塚則生

郵送先:〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax:045-312-1862(取次ぎ:レターケース No.81 宛て)

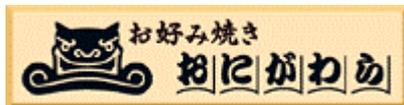
URL: <http://www2.airnet.ne.jp/krb/>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者:神奈川R B会報担当 太田隆行

神奈川R B会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなで行こう！



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

3月15日より一ヶ月の冬期休業を終えて再開します。

店主:中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30~14:30、17:30~20:30

(火・水定休、祝日は営業)

上記以外の期間 11:30~14:30、17:00~20:00 (火・水定休)